

平成17年度 市政フォーラムを開催

新「出雲市」の発展を対話と交流によりめざします

市長をはじめ市の幹部職員が各地区へ出かけ、市民のみなさんと直接意見を交わす市政フォーラム。10月11日から12月1日までの間、平田・出雲地域27会場で開催し、2361人の参加者があり241人の方から発言がありました。会場で出された多くの提案・意見の中から一部を紹介します。



平田地区市政フォーラムの様子（11月4日 平田学習館）

平田地域

Q 観光大国創造と国道整備重点施策に「21世紀出雲神話観光大国の創造」がある。出雲大社付近の国道431号については歩道が整備されているが、国富地区は整備されていない。歩行者や自転車で通行している者は怖い思いをする。出雲大社への大型観光バスが通る幹線道路であり、早急に整備してほしい。

A 市の意見
出雲大社観光の重要な路線であり、整備の必要性を痛感している。国や県に働きかけ、合併後10年のなかで素晴らしい観光道路となるよう頑張りたい。

Q 山王川の排水対策を
山王川は各家庭、田畑の排水路として重要な役割を持っているが、雨が降ると排水機能が低下し水位が下がり

A 市の意見
出雲大社観光の重要な路線であり、整備の必要性を痛感している。国や県に働きかけ、合併後10年のなかで素晴らしい観光道路となるよう頑張りたい。

Q 山王川の排水対策を
山王川は各家庭、田畑の排水路として重要な役割を持っているが、雨が降ると排水機能が低下し水位が下がり

A 市の意見
出雲大社観光の重要な路線であり、整備の必要性を痛感している。国や県に働きかけ、合併後10年のなかで素晴らしい観光道路となるよう頑張りたい。

ない。川の法面も軟弱で角度が急なことから、災害の危険性がある。抜本的改修を強く願う。

A 市の意見
山王川改修については、旧平田市の土地改良事業管理計画で県営事業として計画されている。事業の実施予定は平成20年である。県財政も厳しいが、計画通り実施するよう市からも要望していく。

Q 有害鳥獣対策について
鹿被害対策は、10年後を見据えた対策が必要。鹿の森の整備と、短期的には防護ネットなどの対策を要望する。合併したので思い切った施策をお願いしたい。

A 市の意見
例えば、思い切った造林を行い、人の住む地域に鹿が出てこないような生息地となる森を作る方法がある。鹿

Q 山王川の排水対策を
山王川は各家庭、田畑の排水路として重要な役割を持っているが、雨が降ると排水機能が低下し水位が下がり

が山から出てきたら処分するという考え方には限界がある。県へも頭数管理以外の方法も提言していきたい。

Q 防災行政無線の設置
今まで、有線放送があったが、今年廃止された。ケーブルテレビで情報が流れるが、見ないと情報を得られない。防災行政無線を設置すれば今以上に住民にとって安心安全ではないか。

A 市の意見
各地区のフォーラムで要望が出ている。佐田、多伎、湖陵の3地域に防災行政無線がある。現在、新市で地域の防災計画を作り直し、統一を図っているところである。防災行政無線の整備については、ぜひ中期財政計画の中に盛り込みたいと思っている。

Q 墳墓は、平成19年度までに1号墓から6号墓の整備を進める。（仮称）王墓館の整備については、平成18年度から敷地の造成工事に着手する予定。王墓館には、調査研究機能、学習教育機能、情報発信・観光機能、アメニティ機能（特産販売、食を学ぶ）の4つの機能を持たせる。文化観光ルートの中心拠点として、市内外から多くの人が集う場所となることを期待している。

出雲地域

Q バス路線について
少子高齢化が進む中、安心して住み続けられるようバス路線の検討をお願いする。地区としてもイベントや会議開催にあたってバスの利用促進を図っているが、高浜地区西部にはバス交通がない。福祉バス、路線バスも含め利用しやすいようにしてほしい。

A 市の意見
バス交通は、新市全体の共通課題である。市全体の公共交通機関のあり方について、時間帯、料金、形態、ルートなどを含めて検討している。検討の中で方向付けをしていきたい。廃止代替バスと福祉バスなどを1本化して循環運行する形も考えられる。

Q 自治協会への加入促進
について
神門地区は自治協会の加入率が75%程度。未加入地区にパ

A 市の意見
新市全体の共通課題である。市全体の公共交通機関のあり方について、時間帯、料金、形態、ルートなどを含めて検討している。検討の中で方向付けをしていきたい。廃止代替バスと福祉バスなどを1本化して循環運行する形も考えられる。

Q 自治協会への加入促進
について
神門地区は自治協会の加入率が75%程度。未加入地区にパ

ンフレットを配付するなど加入促進の努力を行っているが、一向に進まない状態。地域の安心安全・青少年健全育成活動にも支障をきたすこととなる。市と自治協会が連携して打開策を講じる考えはないか。

A 市の意見
市も加入率低下に問題意識を持っている。市民課において加入促進パンフレットを転入者に配布し、加入のお願いをしているが、建築確認申請時の加入働きかけなども今後検討していく。自治会を支援する組織を立ち上げ、自治協会と協力していきたい。

Q 弥生の森整備計画について
建設予定の王墓館を含め説明してほしい。地元の女性も期待している。歴史学習の場、食生活の学習の場、交流の場にしたい。王墓館に併設して、交流や食のイベント施設を整

A 市の意見
墳墓は、平成19年度までに1号墓から6号墓の整備を進める。（仮称）王墓館の整備については、平成18年度から敷地の造成工事に着手する予定。王墓館には、調査研究機能、学習教育機能、情報発信・観光機能、アメニティ機能（特産販売、食を学ぶ）の4つの機能を持たせる。文化観光ルートの中心拠点として、市内外から多くの人が集う場所となることを期待している。

Q 子育て支援について
次世代育成支援プランも示され、協働での支援の仕組みづくりが大切と実感している。核家族化、共働きなどが増え、育児支援が重要な課題である。地域が一体となり川跡ならではの取組みを実施している。さまざまな立場で

備してほしい。

A 市の意見
墳墓は、平成19年度までに1号墓から6号墓の整備を進める。（仮称）王墓館の整備については、平成18年度から敷地の造成工事に着手する予定。王墓館には、調査研究機能、学習教育機能、情報発信・観光機能、アメニティ機能（特産販売、食を学ぶ）の4つの機能を持たせる。文化観光ルートの中心拠点として、市内外から多くの人が集う場所となることを期待している。

Q 子育て支援について
次世代育成支援プランも示され、協働での支援の仕組みづくりが大切と実感している。核家族化、共働きなどが増え、育児支援が重要な課題である。地域が一体となり川跡ならではの取組みを実施している。さまざまな立場で

A 市の意見
墳墓は、平成19年度までに1号墓から6号墓の整備を進める。（仮称）王墓館の整備については、平成18年度から敷地の造成工事に着手する予定。王墓館には、調査研究機能、学習教育機能、情報発信・観光機能、アメニティ機能（特産販売、食を学ぶ）の4つの機能を持たせる。文化観光ルートの中心拠点として、市内外から多くの人が集う場所となることを期待している。

超えている。行政情報が放映されているので積極的に利用してほしい。

Q 風力発電について
完成時期などを教えてほしい。また事業は業者と提携して行うのか。

A 市の意見
実績のある民間2社が行う事業で発電規模は8万1千kw。風車27基を予定。現段階では国内最大の発電規模。現在、環境への影響や作業道についての調査を進めている。平成21年に完成予定。事業費規模は150億円といわれている。電力は全て中国電力に売る計画で作業道は生活道として活用することが可能である。市としても環境に配慮しつつ、地域活性化の観点でこの事業を応援していきたい。

Q 海岸への漂流物対策
近年特に外国からの漂流物が多い。三津町海岸は天然岩のりの漁場であり、年1回全戸参加で清掃を行っている。2〜3時間でトラック5〜6台の量があり、回収の支援をお願いしたい。



今市地区市政フォーラムの様子（11月25日 今市コミュニティセンター）

